

ごみ減量大作戦の実施

富士山ごみ減量大作戦は、ふじさんネットワーク、静岡県、地元市町及び静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会との共催で実施しており、令和4年度の第2回目を10月22日(土)に裾野市須山で開催しました。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般ボランティアは募集せず、関係者のみでの実施となりました。



参加者集合写真

16名が参加し、富士山資料館や富士サファリパーク周辺の道路(469号)沿いを清掃し、約140kg(可燃)ごみ130kg、不燃ごみ10kgのごみを回収しました。待

避所など、車が停めやすい場所の近くにごみが多い傾向があります。

この日は、お菓子の包装やタバコの吸い殻等の小さいごみや、缶、ビン、ペットボトル等毎回見られるごみの他、細い板材や角材が回収されました。

令和4年度の第3回目は、令和5年2月下旬に富士宮市で開催予定でしたが、開催の判断をする2月上旬時点の新型コロナウイルスの警戒レベルが3だったため、残念なことに中止となりました。

ここ数年ボランティア参加者の募集がでざり、関係者のみで実施していますが、ボランティアの皆様に参加していただくことが可能な状況になりましたら開催のお知らせをしますので、その際は御協力をお願いします。



回収したごみ



NEWS × COLUMN

富士山ごみ持ち帰りマナー向上対策事業の実施

平成29年の山開き期間中に大量のごみが登山道や山小屋周辺等に放置されたことから、平成30年度以降のお盆期間中に、登山者に対する「富士山のごみ持ち帰りマナー向上キャンペーン」が実施されることになりました。



ごみ持ち帰りマナーの呼びかけ

富士宮口五合目のレストハウスが焼失したり、新型コロナウイルス感染症が蔓延したりと、事業の開始当初と状況が大きく変わり、登山者が減少したり、呼びかけがしづらくなっていたりしますが、依然として、ごみを捨ててしまう人が後を絶たないため、啓発を続ける必要があると考えられます。

令和4年度も、認定特定非営利活動法人富士山クラブに委託し、ごみ持ち帰りマナー向上対策事業を実施しました。

令和3年度は極力スタッフと登山者の接触を避けるために、呼びかけだけでごみ袋を配布しませんでした。令和4年度は、密封式で生分解性の素材を使用したごみ

袋を配布しながら、登山者にマナーについて呼びかけました。

登山者数が減少したのと比例してか、富士山の五合目以上で拾われるごみの量も減少している状況ですが、マスクが新たなごみとなったり、安価で耐久性が低く、強風等で使えなくなったカップや傘等のごみが落ちていたり、必要十分な準備をして登山をしてください！という啓発は必要です。

耐久性の低いカップや傘を使用すると、破損して使用できなくなり、ごみとなってしまふことはもちろん、身の危険にさらされることになるため、命を守るためにも、雨風の侵入を防げる素材の装備を揃えることが必要です。

また、意図的に捨てる人だけでなく、意図せず落としてしまう人もいます。山小屋のトイレにごみが落ちているため、維持管理に支障が出て迷惑している、という話も山小屋関係者から出てきます。

令和5年度も富士山の環境保全のためのごみ対策を継続していく予定なので、皆様も御協力ください。



ごみ持ち帰りマナーの呼びかけ

